

乙訓福祉施設事務組合

おつふくつうしん

2023
6
No.49

乙訓福祉施設事務組合とは

向日市、長岡京市、大山崎町の2市1町が福祉事業の一部を
共同して行うことを目的として設立されている一部事務組合(特別地方公共団体)です。

広報



設立
40周年

th

乙訓福祉施設事務組合は、令和5年4月1日に設立40周年を迎えました。地域の皆さまや関係各位には心から感謝を申し上げます。
「広報おつふくつうしん」は、地域の皆さまへ親しみのある紙面をお届けできるよう、鋭意努めてまいりますので、引き続き、ご愛読賜りますようお願い申し上げます。

生活介護事業

生活介護事業では様々な作品が生まれています。糸と布を使った作品作りでは、同じ素材、同じ針と刺繍枠を使っているのですが、作り手によって出来上がりは三者三様です。縫い目の細かさや糸の重ね方は、それぞれの個性が表われています。また、糸の色や引き具合はその時の気分の表れでもあるようです。

これからも作り手の個性が生きる作品作りを続けていきたいと思ひます。



利用者の作品

空き缶回収について

生活介護事業では、地域の皆様からのアルミ缶回収をおこなっています。ご協力いただける方は、乙訓若竹苑(075-954-6501)までご連絡ください。

なお、令和4年度の回収総重量は304.2kgでした。ご協力いただきありがとうございました。

就労継続支援（B型）事業

3月12日(日)に京都市内にて「第34回全国車いす駅伝競走大会」が開催されました。就労継続支援（B型）事業は、大会参加賞の商品提案の公募にエントリーし、採用されました。採用された商品は、車いすで疾走する選手を手作業で印刷したエコバッグと、1枚ずつ手染めしたべんがら染めガーゼタオルのセット（下記写真）です。商品が全国の皆さんの手に渡るため、利用者も気合いを入れて作製しました。

このように、乙訓若竹苑では様々な自主製品を製作していますので、「景品や記念品を作ってほしい」などの要望がありましたら、お気軽にお問合せください。



エコバッグとガーゼタオルのセット

地域活動支援センター事業

地域活動支援センターは、向日市、長岡京市、大山崎町でお住まいの方に、「安心して過ごせる居場所」と「社会との交流を持てる場所」を目的として活動しています。主な活動内容としては、カラオケ、お持ちのゲーム機等を持ち寄ってのゲーム大会、スイーツ作り等の「楽しいな」と思える時間を作るお手伝いをしています。また、染め物や習字の体験等の企画も考えています。随時見学の受付を行っていますので、興味がある方はぜひ一度ご連絡ください！



ヨモギを足湯に使います



マフィン作りの様子です

わかたけえん 小さな作品展

日時：令和5年6月23日(金)～27日(火)

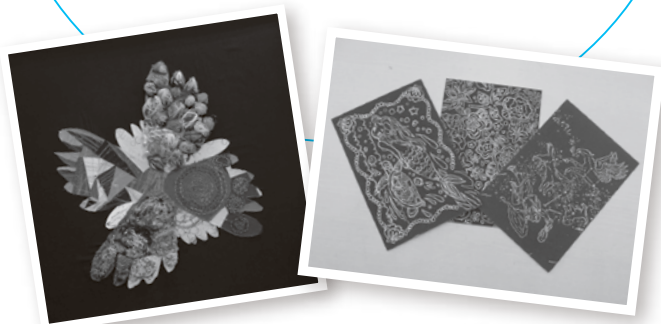
場所：永守重信市民会館

1階ギャラリー（向日市役所本館隣接）

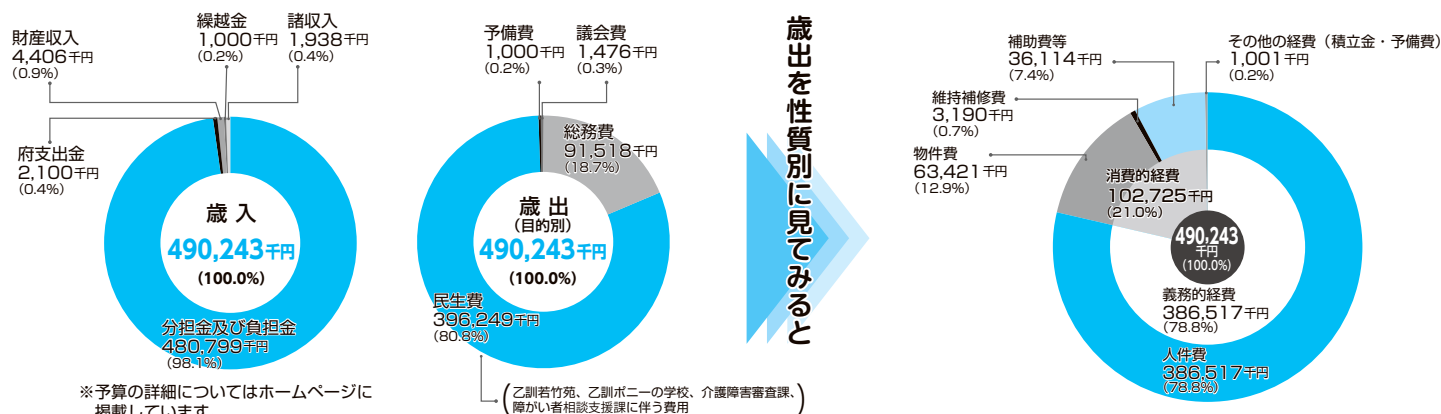
費用：無料

利用者の皆さんが日々作ってきた絵画や過去の受賞作品を展示しています。

個性が光るものばかりです♪
ぜひお気軽にご来場ください。



乙訓福祉施設事務組合では予算を、市町村等の自治体と同様に議会（組合議会）で審議、決定しています。令和5年度の当初予算は、3月28日に行われた組合議会で決まりました。総額は4億9千24万3千円で、昨年と比べて120万8千円（0.2%）の増額となっています。



乙訓福祉施設事務組合は、財政状況の公表に関する条例に基づき、毎年6月と12月に組合財政の状況について公表しています。今回は、令和4年度の下半期分として、令和5年3月31日現在における予算の執行状況や組合財産の現在高等についてお知らせします。

◆一般会計歳入歳出予算執行状況（令和5年3月31日現在）

歳入

（単位：千円）

款	予算現額	構成比	収入済額	収入率
1 分担金及び負担金	457,869	93.7%	435,853	95.2%
2 府支出金	2,600	0.5%	2,600	100.0%
3 財産収入	5,125	1.0%	4,586	89.5%
4 繰越金	19,876	4.1%	19,876	100.0%
5 諸収入	1,876	0.4%	1,846	98.4%
6 繰入金	1,133	0.2%	1,133	100.0%
7 国庫支出金	357	0.1%	357	100.0%
歳入合計	488,836	100.0%	466,251	95.4%

歳出

（単位：千円）

款	予算現額	構成比	支出済額	執行率
1 議会費	1,992	0.4%	1,149	57.7%
2 総務費	87,947	18.0%	61,312	69.7%
3 民生費	394,597	80.7%	371,043	94.0%
4 予備費	4,300	0.9%	0	0.0%
歳出合計	488,836	100.0%	433,504	88.7%

◆基金の状況

（単位：千円）

名称	令和5年3月31日現在残高
財政調整基金	874
施設整備基金	0

◆組合財産の現在高（令和5年3月31日現在）

区分	数量・面積	内容
土地	2,986.46㎡	若竹苑、ポニーの学校用地（旧ポニー用地含む）
建物	2,045.58㎡	若竹苑、ポニーの学校（組合庁舎含む）
物品	57品	1品10万円以上の物品

◆一時借入金の状況

令和5年3月までの一時借入金の借入実績は、ありませんでした。

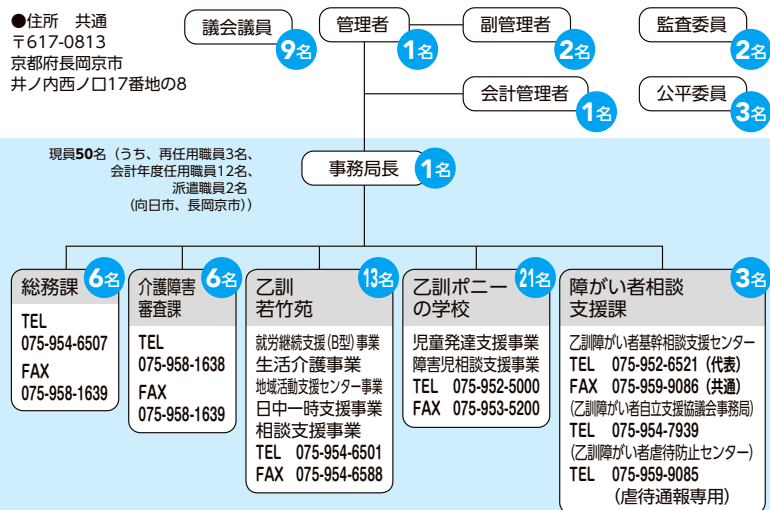
組合議会議員紹介

令和5年6月1日現在の組合議会議員は、次の方々です。

- 議長 井上 博明（大山崎町）
 副議長 白石 多津子（長岡京市）
 監査委員 村田 光隆（向日市）
 議員 大伴 壘（長岡京市）
 “ 小畑 孝信（大山崎町）
 “ 北林 智子（向日市）
 “ 住田 初恵（長岡京市）
 “ 辻 真理子（大山崎町）
 “ 松本 美由紀（向日市）

- 議会は傍聴可能です。（予約不要）
- 議会日程についてはホームページに掲載しています。

組合機構図と職員構成



（令和5年4月1日現在）

乙訓障がい者基幹相談支援センター

TEL 075-952-6521 (代表) FAX 075-959-9086

乙訓障がい者基幹相談支援センターは、障がいのある方に対応する総合的な相談窓口です。相談内容に応じて、関係機関と連携し、お困りごとの解決に向けて一緒に考えていきます。

総合相談 TEL 075-952-6521

①総合的・専門的な相談支援の実施

暮らしのこと、福祉サービス、権利に関することなど、ご本人やご家族が抱えている不安や課題をお聞きし、生活をサポートする関係機関と連携して解決方法を考えます。

相談支援事業所が抱える解決しづらい困難ケースに対して、課題や支援方法の着目点などについて一緒に考えます。



②地域の相談支援体制強化の取り組み

乙訓圏域障がい者自立支援協議会や乙訓圏域障がい者相談支援事業所連絡会といった地域のネットワークづくりに関する会議に出席し、関係機関との連携に取り組んでいます。

また、相談支援事業所のニーズに応じた研修会を毎年開催しています。

③権利擁護に関する取り組み

「成年後見制度」について案内や説明を行います。

乙訓障がい者虐待防止センター TEL 075-959-9085

「障害者虐待防止法」に基づき、通報の受付や相談・助言、各案件対応のお手伝いや、虐待防止に関する広報活動を行っています。

乙訓障がい者虐待防止センターが設置されてからの10年を振り返ります

「障害者虐待防止法」が施行された平成24年から、皆さまのご協力のもと制度運用してまいりました。今回は、乙訓障がい者虐待防止センター設置から10年について、年度別にみた障がい者虐待対応状況を振り返りました。併せて、令和4年度の障がい者虐待件数について、以下の表にまとめました。

1 乙訓障がい者虐待防止センター設置後10年間の障がい者虐待対応状況（平成24年度～令和3年度）

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計
養護者による	通報・届出	11	6	8	10	9	20	12	15	12	20	123
	虐待認定件数	8	6	8	5	2	11	7	4	5	10	66
施設従事者等による	通報・届出	2	5	6	3	4	10	14	6	19	5	74
	虐待認定件数	1	1	3	0	0	2	2	0	4	2	15
使用者による	通報・届出	0	0	1	2	1	3	3	4	0	1	15
	虐待認定件数	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2

2 令和4年度の乙訓圏域における障がい者虐待の件数（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

	通報・届出受理件数	虐待ありと判断した件数	調査中の件数	虐待なしと判断した件数
養護者による	14	6	1	8
施設従事者等による	13	4	2	8
使用者による	2	0	0	2

※虐待有無の件数には、前年度より繰り越している案件も含まれるため、総数との相違があります。
通報ごとに、関係市町と内容を検討し、緊急性の判断や対応方針の会議、事実確認、また必要に応じてケース会議を行いました。

障がい者虐待かもしれないと思ったらすぐにお電話ください

通報専用電話番号 ☎ 075-959-9085

障がいのある方に対して、虐待を受けていると思われたときは、上記の通報専用番号までご連絡ください。虐待を受けている可能性のある方だけでなく、介護や介助をしている方を守るためでもあります。通報は匿名で行うことも可能です。また、通報者や通報内容に関する秘密は守られます。

「障がい」のひらがな表記について 「障害」の「害」という漢字は否定的なイメージを思い浮かべたり、不快感をもたれたり、人に対して使用することが心身に障がいを持つ方々への差別や偏見を助長しかねません。このことから、本組合で作成・発送する文書や広報などは、人や人の状態を表す「障害」の文字を「障がい」と表記します。但し、法律や制度の名称及び「障害物」など人や人の状態を表さない言葉では、従来どおりの表記となります。

乙訓圏域障がい者自立支援協議会は、地域の障がい者福祉における課題整理や検討、発信を目的に運営されています。

—令和4年度 事業報告—

○運営委員会

委託相談支援事業所と行政機関で構成し、協議すべき課題の整理と支援策の検討、部会の進め方などについて協議しました。

○「医療的ケア」委員会 委員会開催回数：5回

主な活動：「医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者フォローアップ交流会」、個別ケースの課題検討をする「個別会」の開催、医療型短期入所の利用に向けたモデルケースを通した準備等

○就労支援部会 部会開催回数：5回

主な活動：福祉就労から一般就労に向けたステップの一つとした庁内実習の報告会と企業からの講演、新たに長岡京市商工会での庁内実習の受入等

○人材確保・育成部会 部会開催回数：5回

主な活動：新任職員が圏域で横のつながりを持ち、定着することを目的とした「新任職員連続講座」の開催、昨年作成した乙訓の施設紹介のチラシを更新し「就職フェア」での配布、施設の見学や体験への活用、専門学校での就職ガイダンス実施、人材育成に携わる職員の交流会等

○相談支援プロジェクト

プロジェクト開催回数：5回
主な活動：圏域の相談支援体制の充実に向けた協議、基幹相談支援センター主催研修に関する協議（精神障がい者の支援に関する研修の実施）等

○精神障がい者地域生活支援プロジェクト

プロジェクト開催回数：4回
主な活動：居場所づくりに関する学習会の開催等

○児童発達支援プロジェクト

プロジェクト開催回数：6回
主な活動：昨年行った「児童発達支援・放課後等デイサービス事業所の現状調査」を基に項目を更新した2次調査の実施等

○喀痰吸引等研修プロジェクト

プロジェクト開催回数：4回
主な活動：社会福祉法人乙訓福祉会と連携した「介護職員等による喀痰吸引等研修（第3号研修）」の実施等

* 詳しい内容は「乙訓福祉施設事務組合」ホームページから「乙訓圏域障がい者自立支援協議会」を開いていただくと、協議会活動状況、会議録等を掲載しておりますので是非ご覧ください。(http://www.otsufuku.com)

介護障害審査課

介護障害審査課は、向日市・長岡京市・大山崎町（以下、2市1町）における介護保険の要介護認定と、障害支援区分認定の審査会事務局を務めています。

認定審査会

介護認定審査会は、76名の審査会委員を19のグループに分け、また障害支援区分認定審査会は、15名の審査会委員を3つのグループに分けた合議体で開催しています。

いずれの審査会においても、申請を受け付けたそれぞれの市町が、国が定める一次判定ソフトに基づきコンピューターにより一次判定を行います。しかし、それだけでは申請者固有の状態を評価することはできないため、両審査会は、一次判定結果を原案とし、認定調査票と主治医意見書の内容をくみ取り、保健、医療、福祉等の専門性の観点から総合的に判断し、二次判定を実施しています。

認定審査会委員の改選

前委員の任期満了に伴い、令和5年4月に介護認定審査会委員76名及び障害支援区分認定審査会委員15名を当事務組合の管理者が任命し、任期2年間の委嘱状を交付しました。

要介護認定審査結果及び障害支援区分認定審査結果

令和4年度における介護認定審査件数は6,718件、また、障害支援区分認定審査件数は288件でした。

なお、2市1町それぞれの介護認定審査及び障害支援区分認定審査の結果及び過去10年間の審査件数の推移は、下表のとおりです。

表1 令和4年度介護認定審査会審査判定結果一覧

市町名	審査 件数	※「一次→二次」変更			非該当	要支援		要介護				
		変更件数	重度変更	軽度変更		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
向日市	2,439	299	287	12	7	454	315	492	370	280	274	247
長岡京市	3,598	418	400	18	16	488	641	693	571	442	402	345
大山崎町	681	129	126	3	4	103	81	158	98	64	101	72
合 計	6,718	846	813	33	27	1,045	1,037	1,343	1,039	786	777	664

※表1及び表2の「変更件数」とは、判定ソフトによる一次判定結果が、審査会による二次判定で変更された件数です。

表2 令和4年度障害支援区分認定審査会審査判定結果一覧

市町名	審査 件数	※「一次→二次」変更				障害支援区分					
		変更件数	重度変更	軽度変更	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
向日市	90	11	11	0	0	0	8	17	18	10	37
長岡京市	172	20	20	0	0	1	11	43	35	24	58
大山崎町	26	3	3	0	0	0	5	5	3	3	10
合 計	288	34	34	0	0	1	24	65	56	37	105

表3 過去10年間（平成25年度～令和4年度）での審査件数の推移

介護認定審査会

市町名	審査件数									
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
向日市	2,113	2,066	2,238	2,245	2,314	1,966	2,442	1,697	1,985	2,439
長岡京市	3,102	3,169	3,253	3,318	3,706	2,954	3,799	2,338	2,851	3,598
大山崎町	704	711	730	715	724	589	722	427	584	681
計	5,919	5,946	6,221	6,278	6,744	5,509	6,963	4,462	5,420	6,718

障害支援区分認定審査会

市町名	審査件数									
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
向日市	80	66	146	81	73	141	81	94	147	90
長岡京市	130	112	213	145	104	224	148	128	200	172
大山崎町	19	34	44	27	30	43	26	32	47	26
計	229	212	403	253	207	408	255	254	394	288



乙訓ポニーの学校

乙訓ポニーの学校は、発達の様々な面で遅れやつまずきが心配される就学前のお子さんを対象とした児童発達支援事業を行う親子通園の療育施設です。次回の申込みは8月です。

また、乙訓地域で生活しておられる18歳未満の障がいのある方やそのご家族を対象とした相談支援事業も行っており、様々なお悩みや困り事について相談をお受けしています。

TEL 075-952-5000

FAX 075-953-5200

ポニーの学校では、さまざまな遊具で、身体をいっぱい動かして遊んでいます!!

今回は、ポニーの学校の大型遊具を紹介します



子どもたちは、療育の中でさまざまな遊具で遊び、のぼったり、ジャンプしたり、バランスをとったり…と夢中で身体を動かします。その中で、『自分の身体がどう動いているのか』『どこに力を入れたらいいのか』などを感じ、試行錯誤しながら動くことで自分の身体を調整する力が育っていきます。そのひとつひとつの経験をじっくり積み重ねることで、ダイナミックな運動遊びを楽しむことができるようになります。

また、上手く身体を動かすことができると、気持ちの調整も少しずつ上手できるようになり、さまざまな活動への意欲も高まり、自信にもつながります。

トランポリン

ひとりで跳んだり、支援員やお友だちと手を繋いで跳んだり、寝転がって揺られるのも楽しいです。バランスをとる力や姿勢を保つ力を育むことができます。



ブランコ

いろいろな種類があります。高さや乗り方、揺れの大きさや方向など、お子さんに合わせて楽しみ方を工夫しています。お友だちと一緒に乗って電車ごっこをするのも楽しいです。

他にも...

滑り台や太鼓橋、巧技台やはしごを組み合わせたコース、ボールプールなどで、全身をしっかりと使って遊ぶこともあります。



◎感染症対策を行いながら、下記の施設開放事業を行います。事前予約が必要です。詳しくはホームページをご覧ください。※感染症拡大の状況によっては中止する可能性があります。

施設開放日

卒園児の方が対象です。
令和5年8月19日(土)
午前の部:10時~12時
午後の部:1時~3時

おもちゃライブラリー

地域にお住まいのどなたでも参加できます。
月に1回、午後3時~4時30分で開催しています。
令和5年7月21日(金)・8月25日(金)・9月15日(金)

